

理科 授業改善推進プラン

1 観点ごとの児童の実態・学習効果測定結果の分析

	3年	4年	5年	6年
知識及び技能	○観察や実験の視点を示すことによって、じっくり観察して、特徴を調べたり正しく記録したりできる児童が多いです。 ○観察や実験を通して確かめたことを知識として定着させることに課題があります。	○「身近なしぜんのかんさつ」における身近な生き物の観察の方法は理解しており、概ね目標値に達しています。 ○「こん虫のからだのつくり」において、昆虫のからだの部位やあしの付き方についての理解が不十分であり、目標値を下回っています。	○「自然の中の水」における蒸発についてよく理解しており、目標値を上回っています。 ○「天気のように気温」について、気温をはかる条件や百葉箱のつくりについての理解が不十分であり、目標値を大きく下回っています	○「天気の変化」において、雲の動き方についての理解が不十分であり、目標値を下回っています。 ○「人のたんじょう」について、胎児にとっての子宮の役割や胎児の母胎内での成長の仕組みについての理解が不十分です。
思考力、表現力、判断力	○観察や実験の結果から、似ていることや異なっていることを発見することができます。	○「植物の育ち方」について、ハウセンカのからだのつくりをもとに、他の植物の構造について推測する力が不十分であり、目標値を大きく下回っています。 ○実験の方法をもとに、考えの根拠となる事象の性質を説明する力に課題があります。	○「1年間の植物の成長」、「1年間の動物のようす」についてよく理解しており、目標値を上回っています。 ○「物のあたたまり方」における、空気のあたまり方と実生活とを結びつけて考える力に課題があります。	○「流れる水のはたらき」について、予想が正しかった場合に得られる実験の結果の推測が不十分であり、目標値を下回っています。 ○「植物の発芽と成長」での種子の発芽に空気が必要かどうかを確かめるための対照実験の方法は理解できています。
学習に向かう意欲、人間性	○観察や実験など体験的な学習に対して、意欲的に取り組んでいます。	○ほとんどの単元において、目標値を下回っています。 ○観察や実験など体験的な学習に対して、意欲的に取り組んでいます。	○実験や観察など体験的な学習に対して、意欲的に取り組んでいます。 ○実験の結果をもとに、事象について理由を表現することに課題があります。	○実験や観察など体験的な学習に対して、意欲的に取り組んでいます。 ○実験の結果を表したグラフをもとに推測し、説明する力が不十分です。

2 課題と改善策、検証方法

	3年	4年	5年	6年
課題	○観察・実験から自然現象の相違点や共通点をしっかりと捉え、知識・理解の定着を図る必要があります。	○全体的に知識の定着を図る必要があります。 ○観察・実験の結果から考えられることは何なのかを意識できるよう指導していく必要があります。	○観察・実験の結果から得られたことだけでなく、その結果における共通点や相違点などに気付かせ、学習した事象について科学的な考えを導き出せるよう指導していく必要があります。	○表やグラフを読み取る技能を身に付け、実験結果の数値的なデータから考察する力を身に付ける必要があります。 ○自分の考えを的確に表現したり、他者に分かりやすく伝えたりするために交流し合う時間の確保が必要です。
改善策	○予想や仮説を立て、観察・実験できるようにします。 ○実験結果や、結果からの考察をまとめる時間を確保し、理解できるようにします。 ○単元ごとに復習・確認する時間を設け、知識の定着を図ります。	○単元ごとに復習・確認する時間を設け、知識の定着を図ります。 ○学習問題、予想、観察・実験、結果、考察、結論といった学習手順に沿って授業を行うことで、科学的な考え方を身につけられるようにしていきます。また、予想を立てる際、考察する際に、書き方の例や話型を示し、指導をしていきます。	○実験結果から考えたことや結果をまとめる時間を確保します。十分に思考・表現することで、理解できるようにします。 ○科学的な考えを導き出すために、学習のねらいを明確にすることで、児童が学習において何を考えればよいのか明確にし、指導をしていきます。	○実験結果を表やグラフなどに表す時間を確保し、数値的なデータをまとめる力と読み取る力の向上を目指します。 ○自分の考えを明確に表し、さらに深めることができるようにするために、児童同士で意見交換をする協働学習の場面を設定します。 ○実験結果から考えたことや結果をまとめる時間を確保します。十分に思考・表現することで、理解できるようにします。
検証方法	○観察・実験の結果から考察やまとめを書くことができるようになったか、ノートやプリントで見取っていきます。 ○プリントやワークテストをもとに知識が定着しているか確認します。	○ノートやプリント、ワークテストをもとに、知識が確実に定着しているか確認します。	○実験結果から考察やまとめを書くことができるようになったか、ノートを回収・添削し、変化を見取っていきます。	○実験結果から考察やまとめを書くことができるようになったか、ノートを回収・添削し、変化を見取っていきます。